

高砂市総合計画審議会（第4回部会）
議事録【要 旨】〔第2部会〕

開催日時	平成21年11月10日（火） 午後2時00分～午後5時20分
開催場所	南庁舎2階会議室2
委員長	北野委員
出席者	伊藤委員、北野委員、國分委員、森本委員 紙谷委員、砂川委員、近藤委員、玉田委員（8名）
欠席者	中井委員、松本委員（2名）
議 事	（1）課題審議について
資 料	①第3次高砂市総合計画（冊子） ②第3次高砂市総合計画 現況調書 ③第3次総合計画「施策データ」一覧表 ④第3次基本計画部会別一覧表 ⑤第3次高砂市総合計画 現況調書（要約版）・用語解説（第3回部会資料） ⑥総合計画策定スケジュール……………（資料1） ⑦第3次高砂市総合計画現況調書における考え方・意見等（第2部会） ……………（資料2） ⑧プラスチック製品再資源化フロー図（2007年）……………（資料3）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	開 会
事務局	ただいまより高砂市総合計画審議会第2部会を開催する。まず部会長より、ひとことあいさつをお願いします。
部会長	皆さん、こんにちは。秋たけなわ、そしてまた師走の前の、まことにお忙しい時期にこうしてご熱心にお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は委員の方々の意見をはっきりお聞かせいただきたいと思います。それでは、事務局よろしく申し上げます。
事務局	本日の会議は、出席者8名、中井委員、松本委員の2名が欠席。審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席されているため、会議が成立していることを報告する。また、当審議会は、高砂市総合計画審議会の運営に関する規定に基づき公開している。本日は傍聴希望者はいない。 ○資料確認
部会長	それでは、本日の議事を進める。課題審議について、事務局から説明をお願いします。
事務局	課題審議に入る前に、資料3について説明する。
事務局	○資料3について説明。
部会長	ただいまの報告について何か質問、意見はあるか。
委員	ペットボトルの回収量は年々増えているのか。ペットボトルの回収量やリサイクル方法について市政だよりなどで情報公開してほしい。
事務局	ペットボトルの発生量は横ばいか、若干減る傾向にある。また、毎月、広報誌にごみについて（テーマを決めて）の話を載せるなどして、啓発活動に努めている。
部会長	ペットボトルがたくさん輸出されているようだが、日本ではあまり再生をしないのか。

事務局	日本では 65 万トン再生している。
部会長	150 万トン輸出しているようだが、なぜすべて日本で再生しないのか。
事務局	外国のほうが単価が高く、日本の再生業者が買おうとしても買い負けるようだ。それにつれて日本国内の単価も上がってきたという経過もある。
部会長	以前、貴金属でも同じようなことがあった。中古家電が再生されていると思い、中古家電を輸出していたのが、結果的に、貴金属の放出になっていた。今回のペットボトルは、貴金属に相通じるものがあるのではないかと懸念している。 ペットボトルの排出量は減っていると報告があったが。
事務局	若干減っている。
部会長	不況が関係しているのか。
事務局	関係している。ペットボトルだけでなく、全般的に減っている。また、市内に常設の資源物を回収するコンテナが設置されているのも減っている理由の一つと考えられる。
部会長	その資源物は美化センターでは回収しないのか。
事務局	個人で回収しているものなので、美化センターでは回収しない。一般廃棄物を扱うのであれば、美化センターは許可の関係の問題があるが、有価物を商いのように扱うのであれば、美化センターはノータッチである。
部会長	有価物ということは、ペットボトルも含まれるのか。
事務局	ペットボトルはあまり見たことがない。新聞紙や段ボール、アルミ缶などがメインである。
部会長	いわゆる廃品回収的なものか。
事務局	そうだ。
事務局	○第 3 章第 5 節 5. 公共交通について説明。

部会長	何か質問、意見はあるか。
委員	<p>J R曾根駅のバリアフリー化、駅周辺整備は20年ほど前から続く懸案事項である。この事業は高砂市が全面的に責任を持ってやらなければならない。バリアフリーに関しては、法規制のなかでスケジュールが決まってきたと思うが、駅周辺整備は地域の住民や地域の自治会とともに、高砂市を代表する玄関として、十分に検討してほしい。</p> <p>コミュニティバスは、高齢者にとって重要な足になるだろうし、低炭素社会においては、エコという面からも必要となり、非常に大きなウェートを占めてくる。いま市民サービスコーナーの統廃合が提案されているが、コミュニティバスがあれば本庁にも、設置されたサービスコーナーにも比較的容易に行ける。市内の移動手段だけではなく、市民サービスの合理的な展開のなかでもコミュニティバスはキーになるだろう。それらを含めた総合的な公共交通の展開をお願いしたい。</p>
事務局	<p>J R曾根駅については、駅周辺整備とともに曾根駅南側からのアクセスについての要望も多く寄せられている。宝殿駅の整備は加古川市と高砂市でおこなったが、J R曾根は高砂市だけでやる事業である。そういう意味では非常に大事であると思っている。</p> <p>コミュニティバスは、公共交通として非常に大事であり、整備の必要性を認識している。コミュニティバスは、あれば便利ということではなく、市民が乗る路線を整備していかないとなかなか採算が取れない。公共交通会議の法定化ということで、法律に基づく会議にして、バス、タクシー、鉄道会社を含めた包括的な公共交通の在り方を明らかにしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>コミュニティバスはよく利用されているルートと、それほど利用のないルートがある。利用者層と、利用量が知りたい。また、市の経済的な負担について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>ルートは4つあり、一番収益が上がっている路線は、生石から宝殿駅を經由し、市民病院を経て高砂駅へ行くルートである。本数も多く、利用者も多い。</p>
部会長	<p>乗車賃はいくらか。</p>
事務局	<p>100円の区間と200円の区間がある。乗車賃は距離によって決まっている。コミュニティバスの運行は神姫バスに委託している。</p> <p>バスの運行経費は年間約3千500万円である。現在、4路線を3台で動かしている。収益は1千300万円ほどである。</p>

<p>部会長</p>	<p>コミュニティバス、公共交通というのは、経費がかかるから、なくてもよいというものではない。エコの面からも必要な投資であると考え。庁内で検討していただき、できるだけコストのかからない、しかも市民が便利よく利用できるかたちにしてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>事前意見で、「環境を整えれば利用者は増え、採算も上がる」という意見をいただいているが、まさにそのとおりだと思う。こちらルートを慎重に選んでいく。山陽電車から南にルートが通っていないことについての意見も非常に多く聞いている。利用者の年齢層等についてはアンケート調査をおこなっていないためわからないが、今後、法定公共交通会議において利用者の意向やニーズ、利用者層などについて把握していきたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>アンケート調査は、無差別にするよりも、幼稚園の保護者、小学校の保護者、婦人会などの各世代の段階別の団体に依頼したほうが回収率がよく、責任のある答えが返ってくる。 それでは、次に進む。</p>
<p>事務局</p>	<p>○第3章第3節 6. 道路について説明。</p>
<p>部会長</p>	<p>何か質問、意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>公共交通について、宝殿駅前にレンタサイクル店がオープンした。自転車は、環境にやさしい乗り物であることはもちろん、南北の移動が簡単になり、非常にいいことだと感じている。 宝殿駅は、昼間30分間隔でしか電車が来ない。利便性がよくない。ぜひとも加古川駅以西の運行を15分間隔にお願いしたい。加古川や姫路とのアクセスがよくなれば、南北の移動を自転車等を利用することにより、マイカー自粛に繋がる。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題等のところに加古川以西、昼間15分間隔の運行という言葉に記載する。電車の利便性が向上すれば、高砂に在住の方にも、高砂市に来てくれる人にとっても便利である。</p>
<p>委員</p>	<p>宝殿駅前の自転車のレンタルについて、建設省のプロジェクト等で、加古川に自転車をレンタルできる場所が何箇所かできていた。それが高砂にもできたかと思ったが、違ったようだ。残念である。 プロジェクト等の情報があれば、民間に流していただきたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>レンタサイクルは市内の史跡などを回るのに非常に都合がいい。公的にでき</p>

	<p>ないのであれば、民間で募集したらどうか。</p>
事務局	<p>その制度を知らなかった。公共交通、車、自転車などいろいろな交通手段があるので、できるところから実施していく。いただいた意見は参考にする。</p>
委員	<p>道路について。基本目標にもあるように、広域幹線道路は、県や国の非常に厳しい経済環境のなかで、望まれながらもあまり進んでいないのが現状である。広域幹線道路がないため、生活道路が幹線道路になっている道路がある。やはり生活道路と幹線道路の選別をし、広域幹線道路整備を最優先でやっていただきたい。</p>
部会長	<p>高砂市の広域幹線道路というのはどこか。</p>
事務局	<p>姫路バイパス、加古川バイパス、国道2号、国道250号の明姫幹線である。250号については曾根から五軒道を通して大塩のほうに抜けていくところが生活道路に近い部分になると思う。</p> <p>加古川から来て相生橋を通っている道路、県道隣接市と結んでいる道路については、ずっと南に下がって、旧浜国、荒井あたりから市役所前までは16メートルの幅だが、ここから西へ行くと10メートル少しぐらいしかない。そういった道路が東西方向にある。南北方向については、県道高砂北条線が広域幹線道路である。</p>
部会長	<p>高砂北条線は幅を広くしているのか。</p>
事務局	<p>そうである。小松原のところが残っている。そこはいま兵庫県事業で拡張してもらっている。ちなみに、高砂市内の市計画道路が24路線で、だいたい51キロほどの計画がある。そのうち、整備済みが29.9キロ、整備率が58%。ちなみに兵庫県下では68%の整備率。兵庫県全体のほうが当然高い。阪神間を持っていますので。加古川が43%の整備率。姫路が61%、神戸が83%という整備率である。</p>
委員	<p>広域幹線道路は、産業の振興と非常に密になっている。大塩はともかくとして、白浜から向こうは元気がいい、湾岸道路。</p>
部会長	<p>大塩のあの間だけが狭い。</p>
事務局	<p>広域幹線道路は生活者も当然利用するものであり、産業の発展には欠かすことができない。産業関連の車が住宅地、いわゆる生活道路に入ってくると、環境面、安全面にいろいろ支障もきたす。高砂北条線が早くできるように努めて</p>

委員	<p>いきたい。</p> <p>道路については、財源の問題があるので、整備については難しいと思うが、加古川バイパス、姫路バイパスに高砂市民がアクセスする場合、加古川西ランプ付近は、非常に混雑し危ない。混雑しないような工夫をすればよくなるように思う。</p>
事務局	<p>道路の混雑については、都市計画道路の整備率が100%達成できればいろんな問題が解決し、交通が分散すると考えられる。しかし、それはいつになるかわからず、待つてはられない。国道、県道、市道それぞれにいろいろな問題があるが、利用者にとって必要なことが何かを考えて対策を取っていけばよいと思っている。</p>
部会長	<p>優先順位を早くすることも考えていただきたい。</p>
事務局	<p>考えさせていただく。</p>
事務局	<p>○第3章第3節 7. 河川・港湾について説明。</p>
部会長	<p>ただいまの説明について、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>先日、意見発表会で出た「海の駅構想」に私は非常に興味を持った。計画に入れてはどうか。</p>
事務局	<p>海の駅は、私も非常にありがたい意見だと思っている。みなとまちづくり構想のなかにも、海の駅、要するに海からのアクセス案もある。高砂は昔、瀬戸内海の寄港地の一つだった。次の総合計画のなかには、表現がどうなるかはわからないが、海を持っている高砂市として盛り込んでいきたいと思っている。</p>
委員	<p>海の駅というのは、船で集まってくるような施設をつくるということか。</p>
事務局	<p>一つのイメージだが、ボート基地ではなくて、例えば、瀬戸内海をヨットやプレジャーボートでクルージングしている方が船を一時的に停めておくことができる場所である。まちを楽しむ機能、まち並みであったり、買い物ができたり、また燃料も買えるといった、要するに、「道の駅」の「海版」といったようなイメージを私自身は持っている。提案者も、そういう思いで言われていると思う。</p>
委員	<p>そういう意味であれば、ぜひ前進させていただきたい。</p>

部会長	<p>西港でも、港でまちを発展させるという話が出た。しかし、環境破壊の世の中では、将来的に一番大事なのは地産地消であると思う。高砂市は、海を道として開発するよりも、漁業を大事にしたほうがよいと思う。海では魚だけではなく海草も獲れて、食料が自給できる。先日、テレビ番組で、大阪湾港を掘り起こして港をつくったところ、魚がまったくいなくなってしまったという話を放送していた。高砂が同じ失敗を繰り返す必要はない。魚のすみかである藻場を荒らすようなことをしてはいけない。港づくりよりも食料優先でお願いしたい。</p>
事務局	<p>高砂の海は、さまざまな要素を持っており、一つの要素だけに集約するのは難しい。海浜公園もあれば、貨物船等の入ってくる港もある。バランスよくやっていくのがいいと思う。海の恩恵を受けながらわれわれは生活をしている。そういったことを大切にする心で事務を進めたい。</p>
部会長	<p>そのお答えを聞いて安心した。よろしく願います。</p>
委員	<p>先日の意見発表会のときに出た意見は、海岸を眺めるだけではなく、直接水と親しめるようにしてほしいという意見があった。いま、それができるのは、加古川の河口から向島公園のあたりだけであるが、考え方によっては、川の上流の土手なども水と親しめる。しかし、子どもだけでは非常に危険である。 親が安心して遊ばせられるような水場（海だけでなく）があるとよい。子どもが安心して水と親しめる施設をお願いしたい。</p>
事務局	<p>親水機能、水に親しむ機能として考えられる場所は、河川、港湾、ため池などが挙げられるだろう。高砂には、ため池、川、海ということで、点、線、面すべてである。そういったものがつながるようにしていきたい。何をどこに入れるかは非常に難しいが、そういった趣旨は組み入れていきたい。</p>
部会長	<p>とにかく向島公園を泳げるようにしたらよい。島を置いているため、海底にヘドロが溜まってしまう。人工島を撤去してほしい。</p>
委員	<p>自然には勝てない。人工的に手を加えるから、おかしくなってしまう。</p>
事務局	<p>○第3章第3節 8. 駅前広場について説明。</p>
部会長	<p>24 ページの意見と同じであるならば、その旨書いておいていただきたい。</p>
事務局	<p>また記載しておく。</p>

委員	<p>現況と課題に出ていないということは、山陽電鉄の駅は10年前には課題はなかったということか。</p> <p>ハードではなく、特にソフト部分で、例えば、万灯祭のときに駅の真ん中にろうそくを置くだけで相当雰囲気が変わる。課題に山陽電鉄に関する整備を入れてほしい。</p>
事務局	<p>10年前に立てた総合計画には山陽電鉄に関する計画は入っていない。高砂駅北側の駅前広場は整備済みである。しかし、駅南側は非常に簡易なロータリーしかなく、車もなかなか止めることができない。今回、山陽電車の高砂駅、荒井駅は、構内のエレベーター化をおこなうが、周辺整備は予定がない。</p> <p>第3次の計画には載せていなかった。</p> <p>山陽電鉄の高砂駅、荒井駅は高砂市の南の玄関口であり、特に乗降客が多い駅である。駅前広場の整備というかたちまでいくかはわからないが、駐輪場や放置自転車の問題等も考え合わせて、高砂市の顔に近づけるような施策を考えていくべきだと認識している。</p>
部会長	<p>高砂という名前がついている駅周辺の整備を優先的に進めてもらいたい。</p>
事務局	<p>高砂駅については、以前、高砂南部開発という大きな構想があった。それは実現しなかったが、高砂市の玄関口をきれいにしようという、その「心」を尊重して、何らかのかたちで記載していきたい。</p>
委員	<p>都市基盤の整備の最終項目であるが、ここに書いてあるのはハードばかりである。駅前是非常に大事である。特に山陽電鉄の高砂駅は大事である。高砂の基盤、原点であると思う。また、JRの駅には、高砂の顔がないと思う。仕事の関係で高砂に住んでいた人が、退職後も高砂に住みたいと。あるいは近隣のまちから高砂に住みたいと。そう思ってもらえるためには、やはりうるおいと安心といったソフトの面が非常に欲しい。そういう意味で、他市よりもまちが非常に沈滞化しているように感じている。</p> <p>それからもう一つ、高砂のなかでも、人が好んで住む場所と住まない場所ができてきている。人口減が始まろうとしている。</p> <p>今後の問題として、東播地区はドーナツ化現象で戦後は人口が増えていた。しかし、今後は減少に向かうということである。人はまちを選ぶので、魅力あるまちづくりを行い、人に選ばれるまちでなければならない。それは、市の責任である。今まで以上に市のリーダーシップが大事になってくる。人が魅力を感じる部分はハードばかりではなく、ソフト面も重要である。ソフト面は役所は弱いので、そこに民間の活力を投入してほしい。</p>

<p>部会長</p>	<p>先日の意見発表会で女性が「にくてん」を核にしてまちを活性化させようという発表をしていた。</p> <p>そこまでの構想を持っているならば、現在シャッター通りになっている銀座商店街をにくてん通りとして再生させてほしい。いまからでもできないか。商業が復活したら、西港の開発もみなとまちづくりも可能になると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>高砂市は都市にも近く、それと同時に田舎暮らしもできるという魅力を持ったまちである。しかし、買い物をするときは大阪、神戸に行ってしまうというストロー現象が起きているのも事実である。電車の本数が増えて、便利になればなるほど、人が外へ出ていってしまう。商業がますます衰える。駅前整備をして、もっと魅力的な場所にし、その活用を考えていく必要がある。</p>
<p>事務局</p>	<p>ハードだけではなく、ソフトも重視すべきという意見をいただいた。駅前広場に花を飾るのも一つかもしれない。旅行者に市内を案内するボランティアガイドもおこなっているがもっと充実させるのも一つだろう。旅行者にとってもありがたいし、ボランティアにとっても、市のことを一所懸命勉強する機会にもなる。自分の地域に自信を持って説明するし、お互いに初対面でも話が弾む。行政が提供するもの、あるいは民間が提供するもの。それにプラス、地域住民の参加もある。それを駅前広場の施策に入れるかどうかは別だが、そうしたソフト面、「心」は大事なものと理解している。</p>
<p>委員</p>	<p>市民・事業者アンケートの結果によると、最も不満度が高かったのが駅前の整備という項目であったかと思う。また、居住地域の都市施設評価でも、駅前、公共施設の緑化の不満度も高かった。駅前に対する市民の関心が非常に高いことに鑑み、第4次では具体的な計画を立てるべきと考えている。では、駅前の整備とは何か、そしてどの駅を対象にするのか。高砂市内には、JRが2駅、山電が4駅あるが、ほとんどの地区で不満度が高かったと記憶している。まず、1日の乗降客5千人以上の4駅を対象にするといったふうに優先順位も決めて実施してほしい。</p> <p>もう一点、不満の内容を分析してほしい。車での送迎が困難とか、自転車や単車の駐輪の問題、あるいは、駅前に花や緑が少なく、まちの顔としての空間がなく寂しいとか、駅周辺に活力が感じられないといったハード面なのか、それともソフト面なのか、それによって行政としての構え方も違って来るだろう。長期計画になるだろうが、対処の仕方を決めて、できることからやっていったらよいのではないか。</p>
<p>部会長</p>	<p>ほかに何か質問、意見はあるか。なければ次に進む。</p>
<p>事務局</p>	<p>○第4章第1節 1. 農業について説明。</p>

部会長	レジャー農園は、施策としては継続するが、経済補助を廃止ということか。
事務局	そうだ。
部会長	これは市の政策というよりも、国が率先して進めるべき施策である。自給率が落ちてきているのをどうにかしなければならない。
委員	団塊の世代の退職に伴い、これからレジャー農園をやってみたいという人が増えてくることは間違いない。農地の集約が必要ということだが、貸し農園自体はまだ十分あるのか。
事務局	貸し農園については、立地条件のいいところが非常に減っている。駐車場や水道、倉庫といった条件が整えられるのであれば、十分に展開していくことはできる。
部会長	休耕田はたくさんあると思うが。
事務局	市内に 55 ヘクタールぐらいはある。
部会長	それを耕して高砂市だけでも自給自足を目指すぐらいしたほうがよい。いまは井戸を掘っても水が出ないのか。
事務局	場所によっては当然出る。
部会長	それであれば、井戸を掘ってはどうか。高砂が画期的だといって注目される。高砂の名を上げることになるだろう。
委員	55 ヘクタールというのは、分散しているのか。
事務局	はい。
委員	それで利用価値がないということか。
委員	営農組合のような受け皿になるようなところがないと書かれているが、農業の近代化、また農業施策に対して、市はどの程度指導できるか。
事務局	高砂市の場合、一人の持っている面積がかなり小さいので、近代化、例えば、

	<p>機械化をするにしても耕作面積が少ないというネックがある。技術的なものは農協の力を借りて指導していただくということもあるが、高砂市の場合は、耕作面積が小さすぎて、近代化という展開ができにくいのが現状である。</p>
部会長	<p>それでは次に進む。</p>
事務局	<p>○第4章第1節 2. 水産業について説明。</p>
部会長	<p>クリーンアップに関してだが、前回の部会で、集めたごみを収集してくれないという苦情が出たが。</p>
事務局	<p>連絡をいただければ回収する。</p>
委員	<p>増養殖場の造成、並型漁礁設置事業は縮小となっているが、計画どおりに進んだため縮小しようということなのか、ほんとうはもっと必要だが、予算の関係で縮小するのか。</p>
事務局	<p>並型漁礁設置事業は、広域でおこなっているが、ほぼ完了したということで縮小となっている。</p>
部会長	<p>並型漁礁というのはどういうものか。</p>
事務局	<p>魚のアパートみたいなものである。すみかを置く。しかし、コンクリートの漁礁にはなかなか藻も付かないということで、砂や砂利、木っ端みみたいなものを入れるなどして、内側へのシフトの必要を感じている。</p>
部会長	<p>それについては4次に盛り込まれるのか。</p>
事務局	<p>そうだ。増殖場については、稚魚や稚貝の放流にシフトしていこうとしている。小さい稚魚は一時的に養殖場に入れ、一週間ぐらいしたら放流する。貝やエビ、カレイなどは直接放流というかたちにシフトを考えている。</p>
委員	<p>高砂ではどういう魚が獲れるのか。漁業で生計は成り立つのか。</p>
事務局	<p>伊保、高砂漁業協同組合の二つに関しては、漁業によって完全に生計を立てている。伊保漁業協同組合はイカナゴ、タコ、カレイが有名である。高砂であれば、最近は獲れなくなったようだがアナゴや、マダコである。</p> <p>高砂の漁業組合は、明石、播磨とほぼ同じ場所の漁業権を持っているので、明石の「魚の棚」に置いているような魚はすべて獲れると考えてよい。</p>

委員	<p>荒井、曾根の小さい漁業組合は、漁業で生計を立てない準組合員であるが、船は持っている。そこでは地産地消を考えてくれと。獲れた魚を地元で販売するというような漁業の展開や、釣り人を運ぶというような遊漁というような漁業を推進してほしいということで、市と漁業組合と話ながら進めている。</p>
事務局	<p>漁業権者というのは何軒くらいあるのか。準と正と、別々に分けて。</p>
部会長	<p>高砂市全体で 143 名。準組合員が 24 名である。</p>
事務局	<p>次に進む。</p>
部会長	<p>○第 4 章第 1 節 3. 工業について説明。</p>
委員	<p>何か質問、意見はあるか。</p>
委員	<p>財政状況が悪いといってすべてカットしていくが、活性化するために必要な金額はほんとうはわずかである。</p> <p>まちに夢が欲しいという気持ちを非常に強く持っている。役所にはなかなか難しいかもしれないが、ちょっと方向付けをいただければ、少しずつまちがよくなっていくと思う。そういう部分が 10 年間の計画のなかにあつたらいいなと。よくなるのかなと思える部分があれば、非常にうれしい。</p>
委員	<p>企業誘致の促進が挙げられているが、ベンチャービジネスを育てる環境もあってもよいと思う。退職した地元企業の技術関係者の技術を用いて何か新しい企業を興す、ベンチャーを興すような場、制度があればよいのではないか。そういうベンチャーは、ワンフロアあれば十分である。そうしたものを育成する制度や、場所の提供をしたら非常に面白いと思う。私の仲間にも、ボランティアで市と協働で働いている人もいる。第 4 次計画では、例えば、神鋼OBの方々など、ボランティア精神を持った技術者の方々と何かをやるといった制度も盛り込んでほしい。それもある意味での民間活力の活用になる。</p>
委員	<p>ベンチャーキャピタルは非常に難しい。</p>
委員	<p>私が言っているのは、投資ではない。自分の持っている技術を社会に生かしたいと思っている人の手助けをしてはどうかということである。そういう方々に対して考える場の提供をしてはどうかと。投資といえば、机といすぐらいである。産業都市、工業都市である高砂には、技術を持った人がたくさんいる。それをうまく地域に生かせるような制度、仕組みができないかなと。お金ではない。</p>

委員	最終的には同じ意見だと思う。民間活力を活用する機会はたくさんあると思う。
部会長	定年退職者であっても、まだまだ頭脳も明晰で体力もある。それを生かすことは、その方々の生きがいにもつながるだろう。しかし、高砂は大企業への依存が強く、企業で働くという体質になり、中小企業が育っていないのも事実である。時代は変わりつつあるので、商工会議所などがバックについて、引っ張っていけば成功するかもしれない。ぜひ、4次には盛り込んでいただきたい。
事務局	4次に生かしていきたい。
部会長	それでは次に進む。
事務局	○第4章第1節 4. 商業について説明。
部会長	何か質問、意見はあるか。
委員	高砂市は、今後、先ほどの「にくてん通り」をつくることにも関係するが、よそから人を呼び込むようなまちにしたいのか、もしくは、工場など働ける場の近くに住み、交通渋滞もなく静かに生活していきたいのかをまず議論する必要があるのではないか。 買い物についてもスタイルが変わってきて、日常の買い物は大型ショッピングセンターではなく、短時間で買い物を済ませるショートタイムショッピングになり、特別な買い物は神戸などに行くと。こういうふうな流れができていようだ。そのなかで高砂は商業においてはどのようなかたちでの環境整備をしていくのかという方向性を出すべきだと思う。
部会長	高齢化によってどんどん空き家になっているという現状がある。観光というよりも、高砂市に住んでくれる人を呼び込みたいという思いからまちの活性化をしたいと思う。せっかく十輪寺や、高砂神社といった名刹がありながら人が少なくなっていくのはもったいない。そういう方向で活性化してはどうか。
委員	まちの発展には人口が重要である。人口増のためには何かまちに魅力がなければならぬ。そういう意味でも、高砂はよそよりも取り残されていると感じる。文化にしても、他市より遅れている。例えば、人員等の削減によって捻出された費用を魅力あるまちづくりに活用するなど、いろいろなやり方があるように思う。

部会長	高砂町をどうするのか、伊保町をどうするのか、荒井町はというふうに、まずまちの基本を決めて、ここは商業地、ここは工業地にするなど、まちの形態を考えてまちづくりをしなければいけない。断片的ではだめである。
委員	高砂の駅前は、もっと人が集まってきてもよい場所だと思う。中途半端なショッピングセンターに集まるとだめだ。エリアの開発をしっかりとしないと結局ばらばらになってしまう。高砂駅前、宝殿駅前、曾根駅前は、人が集まるところにすべきである。そのためにはどのように行政は取組み、民間はどういうふうに参加していくのか。このへんメリハリをつける必要がある。高砂駅前は、民間のいろんな権利等も含めて、ちょっと手をこまねいているというような感じを受ける。商店街のにくてん通りの案についても、意見は出ても、権利等の関係があるため見過ごしているという状況があるので、その点の整理も必要だと思う。
部会長	表現の問題だが、この書き方だと、「商店街元気アップ」が廃止されるように見える。補助金廃止であることがわかるように記載してほしい。
事務局	たしかに見方によっては消極的に取られかねない。
部会長	事業名は商店街元気アップ事業として、課題の欄で補助金廃止としたほうがよいと思う。この項目に商工会議所についての記載がないが、盛り込む必要はないか。
事務局	第4次計画策定の際に検討する。
事務局	○第4章第2節 1. 勤労者対策について説明。
部会長	何か質問、意見はあるか。
委員	シルバー人材センターは、高齢者の方々のスキルを生かすような場だとは思いますが、中途半端に思える。安いから、一所懸命やってくれるからいうことでやられているが、シルバーの人材そのものが、もっと広範囲にいろんな人たちの活用が広がっていく可能性は持っていると思う。そういう意味で、第4次におけるシルバー人材センターの位置付け、今後10年の展望を教えてください。
事務局	今後、10年間どういう考え方をするということについては、ちょっとお答えできない。そういうご意見も参考にして、今後、検討はしていく必要があると思う。

委員	<p>国の政策としても雇用対策が進められているが、臨時的職員の雇用を吸収する一つの組織として、市は大きな位置付けになっているのではないかと思った。労働環境云々というよりも雇用対策としてもこのあたりの充実は求められてきていると感じている。</p>
部会長	<p>基本目標は、この表現で十分だと思うが。</p>
委員	<p>継続でよい。</p>
部会長	<p>それでは次に進む。</p>
事務局	<p>○第4章第2節 1. 国際交流について説明。</p>
部会長	<p>何か質問、意見はあるか。</p>
委員	<p>これからの10年考えたときに、単に国際交流という考え方でいいのか。いまはもっとグローバルな「地球市民」というような位置付けもある。もう少し考え方を变えて、そのなかでの青少年の育成や姉妹都市との交流、語学の研修をするなど、ステージを上げた計画を立ててほしい。地球規模での人材育成が必要な時代だと思う。</p>
部会長	<p>「外国人との共生」と書かれているが、表現が古いように感じる。</p>
事務局	<p>いまの意見は、世界に出ていく人材をもっと育成すべきというようなイメージととらえた。そのあたりは参考にさせていただく。</p>
委員	<p>現在、高砂市内在住の在日外国人は何人いるか。</p>
事務局	<p>ブルーファイルの41ページに外国人登録者数を載せている。</p>
委員	<p>在日外国人の方々の組織はあるのか。</p>
部会長	<p>組織はある。韓国の方とはお祭りを通じて交流がある。 そのほか国際交流についてお考えのことがあれば、事務局まで意見を寄せてほしい。</p>
事務局	<p>○第4章第3節 2. 国内交流について説明。</p>
部会長	<p>何か質問、意見はあるか。</p>

委員	姉妹都市はないのか。
部会長	前は波賀と姉妹都市提携を結んでいたと思うが。
事務局	町の合併により、波賀町がなくなってしまった。
事務局	○第4章第3節 3. ブライダル都市について説明。
部会長	何か質問、意見はあるか。
委員	ブライダル都市というイメージがピンとこない。高砂市とブライダルというのはつながるか。市民にもわかるか。
委員	高砂市がブライダル都市とするなら、市立の結婚式場があってもいいのではないか。いまは言葉だけになっている。
部会長	その構想はあったが頓挫した。
委員	実体がないと非常に難しい。新しい市のイメージづくりも必要ではないかと思う。
部会長	何かほかに質問、意見はあるか。
委員	私もブライダル都市というものに違和感を抱いているが、いまあるものを生かすことを考えてもいいのではないか。結婚式ができるといったソフトの工夫があって、それを発信すると。特に外から集まってきてほしいところの核の部分にそういうのをつくって全国にPRするといったことを考えたらいいと思う。しかし、これにも大前提があって、ブライダル都市宣言をそのままいくのか、いったんやめるのかと。このへんの判断がやっぱり必要である。そのままであれば、是非ともそれを生かしてもらいたい。
事務局	○第4章第3節 観光の振興について説明。
部会長	何か意見はないか。市をあげて力を入れている秋祭りは高砂の観光にならないか。
委員	高砂市の秋祭り全体をもっとPRしてはどうか。場合によっては灘のけんか祭りという名前に負けないような新しい名称を付けてもいいのではないか。そ

	<p>うすることによって、かなりの観光資源になると思う。計画のなかに1行も入っていないというのは、ものすごく違和感を覚える。</p>
事務局	<p>秋祭りのPRは観光協会でおこなっている。</p>
部会長	<p>ポスターをつくるだけでは宣伝にならない。もっと力を入れてPRすべき。</p>
委員	<p>観光というのは、昔からある遺産的な特徴のあるものを前面に出すのがいいと思う。しかし、ある程度観光というのは、地元の人がつくりあげていかなければならない面もある。高砂市民にとってみれば、秋祭りは観光という意識を持っていないのではないか。その秋祭りを観光に育て上げるのは市の責任である。岸和田にしても意図的につくりあげている部分もある。今後の施策のなかに入れる必要があると感じる。</p>
部会長	<p>次に進む。</p>
事務局	<p>○第5章第1節 1. 市民参加について説明。</p>
部会長	<p>「参加と協働の推進」ではなく、「参画と協働の推進」でないとおかしい。訂正願う。</p>
事務局	<p>○第5章第1節 3. コミュニティについて説明。</p>
部会長	<p>何か質問、意見はあるか。</p>
委員	<p>コミュニティ意識の高揚とあるが、行政としてどういうことをしようとしているのか。そもそもコミュニティというのは、各自治会がすべきことだと思うが、清掃や、あるいはいろんな行事についても指導していくということか。意識の高揚のための施策というのはどういうことなのか。</p>
事務局	<p>行政として意識を高揚させるというよりも、いかに市民の方がそういうコミュニティ意識を持って活動していただけるのかという方向で考えている。市がある程度の方向付けをすることは必要だと思うが、自治会ごとの独自性も必要だと考える。だからおのおの組織、自治会の活性化が必要と考えている。</p>
委員	<p>自治会の活性化のために行政としてどういうことができるのか、例を挙げてほしい。</p>
事務局	<p>いま県民交流広場事業で、校区ごとに事業をやっているが、あれ</p>

	<p>もいわばそういうコミュニティ意識の高揚と考えている。</p>
委員	<p>県民交流広場というのは、高砂ではいまどのぐらい普及しているのか。進行状況と今後の展望を知りたい。</p>
事務局	<p>現在、2カ所。3地区目の準備を進めているという。曾根と荒井と、米田である。また、来年に向けて2地区ほど検討中である。</p>
委員	<p>小学校校区を単位としたコミュニティづくりということか。例えば、荒井町には17の自治会があり、それぞれの決めごと、自治会ごとにやり方も違うし、報告も違う。</p>
部会長	<p>県民交流広場というのは、自治会組織があまりなく、集会所もないといったところのために発足したものである。高砂自身はそれぞれの公民館もあり、集会所もあるから用をなしている。しかし、さらに自分たちでしようという人たちが出てきて、申請を出したら、べつにそれを阻害するようなものもなく、申請の許可が下りる。コミュニティというのは、自治会組織でいいわけである。</p>
委員	<p>最小限度は、自治会組織で、それが大きくなって小学校校区ぐらいになる。</p>
委員	<p>公益法人になっている自治会の何カ所かで、ものすごくコミュニティ活動が難しくなっている。回覧板を回すといった程度のことはいいが、自主防災や小地域福祉部会などいろいろあって負担が大きい。そういうものを統括したものがコミュニティ活動だと思うが、市にコミュニティ活動をもう少し整理してもらいたいと思っている。</p>
部会長	<p>次の人たちができるような形態に変えていったらいい。続けていくことができないようではいけない。時代に合わないと感じたら、変えていくべきである。</p>
委員	<p>自治会というのは、字を読んでそのまま、自ら治める会である。だから地域の親睦団体という考え方でいかないとならない。やればきりが無い。そのなかで規範意識をできるだけみんなに持ってもらう。隣近所と仲良しに付き合っていく。これがコミュニティの基本である。</p>
委員	<p>法人化されている自治会は何割ぐらいあるのか。</p>
事務局	<p>手元に数字を持っていないが、かなり増えてきている。</p>
部会長	<p>ほかに意見はないか。</p>

事務局	これで審議はすべて終わった。
部会長	<p>予定された議事はすべて終了した。部会ごとの課題審議については、これで終了とし、今後、私と副部会長、事務局で意見を取りまとめていきたい。お任せいただけるか。</p> <p><異議なし></p>
部会長	ありがとうございます。ではそのようにさせていただく。それでは、引き続いて次第の3番目。その他について事務局から説明願う。
事務局	<p>○スケジュールについて説明。</p> <p>閉 会</p>